

いしゃ先生ありがどさま

西川中学校だよりの巻頭言から
西川中学校長 朝倉和彦さん

先日、「いしゃ先生」を見に行ってきました。この西川の偉人でしたし、ポスターをはじめだいがマスコミ等で取り上げられていましたので、上映をととても楽しみにしていました。皆さんも多くの人が見たかもしれません。また、親戚の方などをはじめ、知人がエキストラとして映画作りに参加した人がいたかもしれません。見た人はどんな感想を持ったでしょうか。「志田周子医師」が父に懇願されたとはいえ、恋をも捨てて、人生をかけて村の医療に尽くした功労は、計り知れないものがあります。ましてや昭和10年代なので、女性への偏見だったり、交通網（自転車さえめずらしい時代）、通信など発達していない時代でしたので、想像できない苦労があったと思います。映画を見て感じたことが二つあります。

一つは「前向きに考える」ということ。それは学校の校訓の『進取』につながることです。志田医師が新しい診療所を開いても患者が来ない。志田医師は、「待っていても患者は来ない。」だったら「自分から往診に行こう。」と新しい診療所を飛び出しました。わたしたちはできない原因を人のせいにして、人に頼ったりします。しかし、それでは問題は解決しません。自分でコントロールできる、やれる方法を考え実行し、前へ進めるようにすることです。

二つ目は「知識がないことは不幸なこと」というセリフです。よほど重い病でなければ休んでいけば、そしてお祓いをすれば病気が治ると信じられていた時代。志田医師が診察を拒否されて、患者が命を落とすシーンがありました。現代は正しい知識をどのように獲得するかを知ることが大切なのです。知識があれば選択の幅が広がるし、学び続ければ人生が豊かになります。知識を獲得し、正しく選択することが大切です。これは、校訓の一つ『自立』につながります。

最後に、志田医師の生涯を銀幕によみがえらせようとして、5年をかけて、1つの作品が仕上がりました。立ち上げから関わった人たちの情熱に感銘を受け、完成に漕ぎ着けた実行力はすばらしいと思います。そして、この映画の中でいちばん感動したのは「いしゃ先生ありがどさまな。」という言葉でした。5年以上もの歳月をかけ、映画を作成した方々に感謝せずにいられません。

生徒の皆さんには、このように郷土に生きた先人がいることを誇りに思い、この地に生まれたことに感謝してこれからの人生を生きてほしいと思います。

(全校集会あいさつから)

全国各地で上映が始まります

- ▷東京都 ヒューマンラストシネマ有楽町 1月9日～
- ▷名古屋市 名演小劇場 1月9日～
- ▷埼玉県川越市 ユナイテッド・シネマウニクス南古谷 1月9日～
- ▷横浜市 ブリリア・ショートショートシアター 1月16日～
- ▷岩手県北上市 イオンシネマ北上 2月6日～
- ▷茨城県守谷市 イオンシネマ守谷 2月6日～
- ▷仙台市 フォーラム仙台 2月13日～
- ▷宮城県石巻市 イオンシネマ石巻 2月13日～
- ▷栃木県那須塩原市 フォーラム那須塩原 2月13日～
- ▷秋田県大仙市 イオンシネマ大曲 2月20日～
- ▷新潟市 ユナイテッド・シネマ新潟 2月20日～
- ▷埼玉県熊谷市 イオンシネマ熊谷 2月20日～
- ▷千葉県佐倉市 イオンシネマユーカリが丘 2月27日～
- ▷大阪市北区 シネリーブル梅田 3月末予定

(上映時間等は各劇場のHPで確認ください。)

そのほか各地で公開されていく予定です。どうか引き続きのご支援をお願いいたします。

